

## 中国における鳥インフルエンザA（H7N9）感染の対応について

平成25年4月15日（月）（16：00）現在

※下線は昨日からの更新部位。

## 1. 事態の概要

- 本年3月31日に中国政府が3名の感染を公表。
- 現在までの発生状況は以下のとおり。
  - ・ 感染が確定した者：60名（うち死亡者13名）
  - ・ 患者との濃厚接触者：1000名以上（WHOの公表に基づく）
    - ※江蘇省で患者との接触歴のある者1名にインフルエンザ様症状（現在詳細確認中）
  - ・ 発生地域：上海市24名（うち死亡者9名）、北京市1名、  
江蘇省16名（うち死亡者1名）、安徽省2名（うち死亡者1名）、  
浙江省15名（うち死亡者2名）、河南省2名

## 2. 感染状況

	年齢	性別	場所	発症日	予後	接触者数(疫学調査)	疫学情報・その他
1	87	男	上海市	2月19日	3月4日死亡	88名(症状なし)	息子2名肺炎 (うち1名死亡)
2	27	男	上海市	2月27日	3月10日死亡		豚肉取り扱い
3	35	女	安徽省滁州市	3月15日	4月9日死亡		家禽接触
4	45	女	江蘇省南京市	3月19日	重篤・治療中	167名 (1名症状あり)	家禽接触
5	48	女	江蘇省宿遷市	3月19日	重篤・治療中		
6	83	男	江蘇省蘇州市	3月20日	4月9日死亡		
7	32	女	江蘇省無錫市	3月21日	重篤・治療中		
8	38	男	浙江省杭州市	3月7日	3月27日死亡	125名	
9	67	男	浙江省杭州市	3月25日	重篤・治療中	58名	
10	64	男	浙江省湖州市	3月29日	4月4日死亡	55名(症状なし)	
11	48	男	上海市	3月28日	4月3日死亡	8名(症状なし)	家禽輸送
12	52	女	上海市	3月27日	4月3日死亡	31名 (1名症状あり・陽性)	仕事なし(退職)
13	67	女	上海市	3月22日	4月13日死亡	3名(症状なし)	仕事なし(退職)
14	4	男	上海市	3月31日	良好	幼稚園児6名 (症状なし)	
15	61	女	江蘇省南京市	3月20日	重篤・治療中	12名(症状なし)	仕事なし(退職)
16	79	男	江蘇省南京市	3月21日	重篤・治療中	53名(症状なし)	仕事なし(退職)
17	74	男	上海市	3月28日	4月11日死亡	5名(症状なし)	農民
18	66	男	上海市	3月29日	軽症	6名(症状なし)	仕事なし(退職)
19	59	男	上海市	3月25日	重篤・治療中	4名(症状なし)	仕事なし(退職)
20	67	男	上海市	3月29日	肺炎・安定	2名(症状なし)	
21	55	男	安徽省亳州市	3月28日	重症肺炎・安定	12名(症状なし)	生きた家畜を販売

22	85	男	江蘇省	3月28日	危篤	34名	仕事なし(退職)
23	25	女	江蘇省	3月30日	危篤	18名	仕事なし(失業中)
24	64	男	上海市	4月1日	重症肺炎・ 4月7日死亡	4名	仕事なし(退職)
25	62	男	上海市	4月1日	肺炎・安定	5名	仕事なし(退職)
26	77	男	上海市	4月3日	<u>4月14日死亡</u>	5名	仕事なし(退職)
27	51	女	浙江省湖州市		安定		仕事なし(退職)
28	79	男	浙江省杭州市		重篤・治療中		仕事なし(退職)
29	65	男	浙江省杭州市		安定・治療中		農民
30	70	男	江蘇省無錫市	3月29日	重篤・治療中	18名(症状なし)	
31	74	男	江蘇省無錫市	4月2日	重篤・治療中	13名(症状なし)	
32	76	女	上海市	4月1日	肺炎・安定	4名(症状なし)	仕事なし(退職)
33	81	女	上海市	4月4日	肺炎・安定	5名(症状なし)	農民
34	74	男	上海市	4月5日	重症肺炎 4月11日死亡	7名(症状なし)	仕事なし(退職)
35	83	女	上海市	4月7日	安定	44名(症状なし)	仕事なし(退職)
36	68	男	上海市	4月4日	安定	19名(症状なし)	仕事なし(退職)
37	31	男	江蘇省	3月31日	重篤・治療中	19名(症状なし)	調理師
38	56	男	江蘇省	4月3日	重篤・治療中	33名(症状なし)	教師
39	66	男	浙江省杭州市	4月8日	<u>重症だが安定・ 治療中</u>		<u>仕事なし(退職)</u>
40	74	男	浙江省杭州市	4月6日	<u>重症だが安定・ 治療中</u>		<u>仕事なし(退職)</u>
41	54	女	浙江省湖州市	4月6日	<u>重症だが安定・ 治療中</u>		農民
42	53	男	上海市	4月3日	重症肺炎・治療 中	3名(症状なし)	自由業
43	86	男	上海市	4月3日	安定・治療中	13名(症状なし)	仕事なし(退職)
44	7	女	北京市	4月11日	安定・治療中	2名(症状なし)	両親が生きた鶏の 販売
45	77	女	江蘇省南京市		重篤・治療中	7名(症状なし)	
46	72	男	江蘇省常熟市		重篤・治療中	9名(症状なし)	
47	56	男	上海市	4月3日	治療中	4名(症状なし)	患者#12の夫 (中国衛生計画生 育委員会)。
48	65	男	浙江省杭州市	4月3日	重篤・治療中		仕事なし(退職)
49	38	男	浙江省杭州市	4月6日	重篤・治療中		労働者
50	34	男	河南省周口市	4月6日	重症肺炎・重篤・ 治療中	19名(症状なし)	調理師
51	65	男	河南省周口市	4月8日	安定		家畜と接触のある 農民

52	64	女	浙江省湖州市	4月6日			農民
53	62	女	浙江省湖州市	3月29日			仕事なし(退職)
54	75	男	浙江省温州市	4月6日	治療中		仕事なし(退職)
55	79	男	浙江省杭州市	4月9日	治療中		仕事なし(退職)
56	50	男	江蘇省南京市		治療中	8名(症状なし)	
57	26	男	江蘇省塩城市		治療中	21名(症状なし)	
58	73	男	上海市	4月5日	肺炎・安定	9名(症状なし)	仕事なし(退職)
59	54	男	上海市	4月8日	肺炎・安定	9名(症状なし)	自由業
60	78	男	上海市	4月4日	肺炎・安定	7名(症状なし)	仕事なし(退職)

※このほかに、4月14日北京市政府の発表によれば北京市で無症状の4歳男児からA(H7N9)ウイルスが検出されたとの報告がある。現在詳細確認中。

- 国立感染症研究所がウイルスの遺伝子情報を解析した結果、ウイルスがヒトへの親和性を有している可能性があることが指摘されており、現在詳細を確認中。
  - 中国のWHO共同センターによる暫定的な検査結果によれば、このウイルスはノイラミダーゼ阻害薬（オセルタミビルとザナミビル）に感受性があると示唆されている。
  - 〈4月4日の中国農業省による発表〉上海市内の卸売市場で採取したハトのサンプルからA(H7N9)ウイルスを検出したと発表。
  - 〈4月5日の中国農業省による発表〉上海市内の3か所の市場で738サンプルを採取し、うち19サンプル（鶏、ハトなど）からA(H7N9)ウイルスを検出。  
既にハトで検出されていたA(H7N9)ウイルスと相同性が高かった（※）。市場の閉鎖、鶏などの焼却処分、清掃・消毒などを実施。
- ※ 遺伝子配列が似ているということ。
- 〈4月7日の中国CDC（疾病予防管理センター）による発表〉検査キットを国内の409のインフルエンザ検査施設や研究所等に配布を開始。
  - 〈4月9日の中国CDCによる発表〉中国CDCのナショナルインフルエンザセンターはヒトから検出されたA(H7N9)ウイルスを、WHOや海外の4つのインフルエンザリファレンスセンター等に出荷。（4月10日に国立感染症研究所に到着）
  - 4月10日時点で、中国政府からOIE（世界獣疫事務局）に対して、安徽省、浙江省及び江蘇省内の生鳥市場で採取された鶏11羽、アヒル3羽のサンプルからA(H7N9)ウイルスが検出された旨、報告されている。施設の消毒、鳥の殺処分等の措置が取られている。

### 3. 政府の主な対応

- 4月3日（水）
  - ・ 関係省庁実務者（課長級）の会議で情報共有
- 4月4日（木）
  - ・ 官房長官が記者会見で説明。関係省庁実務者（課長級）の会議で情報を共有。官房長官指示を徹底

### 4. 各省庁の活動状況

#### <総務省>

- 4月4日（木）
  - ・ 都道府県の消防防災主管部局に対し、患者の発生について情報提供（消防庁）
- 4月9日（火）
  - ・ 都道府県の消防防災主管部局に対し、政府の対応等について情報提供。（消防庁）

#### <法務省>

- 4月4日（木）
  - ・ 地方入国管理官署に対し注意喚起

#### <外務省>

- 外務省海外安全ホームページ上に感染症スポット情報を発出し、注意喚起を実施
  - ・ 4月3日（水）～5日（金）、8日（月）～15日（月）（最新：その11）
- 在外公館ホームページにおいて、中国における鳥インフルエンザA（H7N9）発生の情報提供及び在留邦人に対する注意喚起を実施
  - ・ 在上海総領事館：4月1日（月）、3（水）～15日（月）（最新：第16報）
  - ・ 在中国大使館：4月1日（月）、3日（水）、7日（日）、8日（月）、11日（木）、12日（金）～15日（月）（最新：第9報）
  - ・ 在香港総領事館：4月5日（金）、12日（金）
  - ・ 在大連出張駐在官事務所：4月8日（月）、13日（土）
  - ・ 在広州総領事館：4月1日（月）、3日（水）、7日（日）、11日（木）、12日（金）、15日（月）（計6報） ※メールマガジンでも配信。
  - ・ 在瀋陽総領事館：4月3日（水）、7日（日）～12日（金）（計7報）
  - ・ 在青島総領事館：4月1日（月）、3日（水）、8日（月）、9日（火）～12日（金）15日（月）（計10報）
- 在上海総領事館において、4月1日（月）以降随時、メールマガジン、日本人会、安全対策連絡協議会、地方自治体事務所及び邦人在住マンションにも上記の情報を発出
- 在大連出張駐在官事務所において、大連市外事弁公室に対して情報提供を依頼するとともに、同事務所主催で17日（水）に「海外邦人安全対策連絡協議会」の開催を予定

#### <財務省>

- 4月4日（木）
  - ・ 税関関連部局に対し、情報提供等を実施

#### <文部科学省>

- 4月1日（月）
  - ・ 上海日本人学校（虹橋校、浦東校）に連絡し、日本人学校の児童・生徒、保護者に関する被害状況を調査。学校の方では感染者等の報告を受けていないことを確認
- 4月8日（月）
  - ・ 上海日本人学校（虹橋校、浦東校）、杭州日本人学校、蘇州日本人学校に連絡し、日本人学校の児童・生徒、保護者に関する被害状況を調査。学校の方では感染者等の報告を受けていないことを確認
  - ・ 各国公私立大学病院に対し、中国で発生している鳥インフルエンザA（H7N9）の患者発生に関して情報提供等を実施

#### <厚生労働省>

- ・ 新型インフルエンザ発生の場合に備え、省内の体制を確認・整備中
- ・ 情報収集し、関係者と情報共有を行うとともに、国民に対し情報提供を実施

#### その他以下の対応を実施

- 4月2日（火）
  - ・ 検疫所のホームページに発生状況を掲載
  - ・ 全国の自治体に対し、発生状況を情報提供
- 4月3日（水）
  - ・ 厚生労働省のホームページに発生状況を掲載
  - ・ 検疫所においてポスターを掲示し、中国への渡航者と中国からの帰国者へ注意喚起
  - ・ 医療機関に対し、症例情報の提供を依頼する通知を自治体に発出
- 4月4日（木）
  - ・ 検疫対応方針の事務連絡を検疫所長に発出
- 4月5日（金）
  - ・ 厚生労働省ホームページにA（H7N9）ウイルスに関する専用サイトを新設
- 4月10日（木）
  - ・ 中国からA（H7N9）ウイルス株が国立感染症研究所に到着（ワクチン株の開発や検査セットの準備を進めている。）

#### <農林水産省>

- 4月5日（金）
  - ・ 国際獣疫事務局（OIE）を通じ、家禽における発生状況について情報収集
  - ・ 国内においては、従来から実施している家禽を対象とした鳥インフルエンザのサーベイ

ランス対象鳥種に飼養されているハトを追加し、監視

- 4月6日（土）
  - ・ 都道府県に対し、中国からO I Eに報告された低病原性鳥インフルエンザの発生状況を情報提供
- 4月8日（月）
  - ・ 農林水産省及び動物検疫所のホームページに中国からO I Eに報告された低病原性鳥インフルエンザの発生状況掲載
- 4月9日（火）
  - ・ 航空会社・船会社に対し、鳥インフルエンザ等の発生国からの直行便における旅行者や入国者へのアナウンスの実施や質問表の配布についての協力を改めて依頼

#### <経済産業省>

- 4月8日（月）
  - ・ 関係団体等に対して中国で発生している鳥インフルエンザA（H7N9）の患者発生に関して情報提供を実施

#### 5. その他

- 鳥インフルエンザA（H7N9）ウイルスの基礎情報
  - ・ これまでに家畜や野鳥等からの検出報告はあるが、ヒトへの感染は報告されていない。
  - ・ 鳥における病原性は低いとの報告はあるが、今回のウイルスについて、人に感染した場合の病原性は調査中。

## ○ 国民への情報提供 (WHO 作成の Q&amp;A)

WHO : 中国における人での鳥のインフルエンザウイルス A (H7N9) 感染症に関する Q&A  
(2013 年 4 月 5 日更新) (邦訳 : 国立感染症研究所)

1. インフルエンザ A (H7N9) ウイルスとは何ですか？

インフルエンザ H7 亜型ウイルスは、通常、鳥の間で循環しているインフルエンザウイルスのグループです。インフルエンザ A (H7N9) ウイルスは H7 亜型ウイルスのサブグループの一つです。複数の H7 亜型ウイルス (H7N2、H7N3 および H7N7) の人への感染が時折発見されてきましたが、H7N9 ウイルスの人への感染は中国からの最近のレポートがあるまで報告されていませんでした。

2. インフルエンザ A (H7N9) ウイルスによるヒト感染の主な症状は何ですか？

これまでのところ、この感染症を有する患者は、重症肺炎を患っていました。症状には、発熱、咳、息切れが含まれます。ただし、情報はまだインフルエンザ A (H7N9) ウイルスの感染が起こしうる病気として考えられる範囲に限ったものです。

3. なぜこのウイルスは現在、人間に感染しているのですか？

これまでの感染患者における曝露源が分かっていないので、我々はこの質問に対して、まだ答えを知りません。しかし、分離されたウイルスの遺伝子解析の結果からは、ウイルスは鳥由来であるものの、哺乳動物に適応の兆しを見せていることを示唆しています。これらの適応には、ウイルスが哺乳動物の細胞に結合する能力と、(鳥のそれよりも低くなっている) 哺乳類の通常の体温に近い温度で増殖しうる能力が含まれます。

4. インフルエンザ A (H7N9) ウイルスは、インフルエンザ A (H1N1) ウイルス、およびインフルエンザ A (H5N1) ウイルスとは違うのですか？

はい。すべての 3 つのウイルスはインフルエンザウイルスですが、互いに異なっています。H7N9 と H5N1 は、時には人々に感染する動物のインフルエンザウイルスであると考えられています。H1N1 ウイルスは、人に通常感染するものと、動物に通常は感染するものに大別できます。

5. 人々はどのようにインフルエンザ A (H7N9) ウイルスに感染したのでしょうか？

確定例の中には、動物や動物のいる環境との接触があった者がいます。ウイルスが上海の市場のハトから見つかっています。人がどのように感染したかは分かっていません。動物から人への感染の可能性、同様に人から人への感染の可能性に対して調査が進められています。

6. インフルエンザ A (H7N9) ウイルスの感染をどのように防ぐことができますか？

感染源と感染経路の両方が不確定ではありますが、感染全般を防ぐために基本的な衛生慣行に従うことが賢明です。その中には手指衛生や咳エチケット (原文では「呼吸器の衛生」と食品安全対策が含まれます。

手指衛生 :

- ・ 以下のような時には手を洗いましょう：
- ・ 食事を用意する前、用意している間、その後。
- ・ 食べる前。
- ・ トイレを使用した後。
- ・ 動物の世話をしたり、動物の排泄物を処理した後。
- ・ 手が汚れている時。
- ・ 家人が病気になりお世話をする時。

手指衛生は、また、（汚染面への接触から）自分自身への感染伝播を予防します。これらは、医療機関においては、患者に対して、あるいは医療従事者や他の人への感染伝播を防ぐことにつながります。

・肉眼的に汚れている場合には、石けんと流水で手を洗いましょう。そうでない場合は、石鹸と水で手を洗ったり、アルコール製剤による手指のクリーナーを使用しましょう。

咳エチケット：

・咳やくしゃみをするときには、医療用マスク、ティッシュペーパー、（服の）袖、または曲げた肘で口と鼻を覆いましょう。その直後に、蓋を閉じることの出来る容器に使用されたティッシュペーパーを捨てましょう。気道分泌物との接触後には、手指衛生を行いましょう。

#### 7. 肉（例：鶏肉や豚肉製品）を食べることは安全ですか？

インフルエンザウイルスはよく調理された食品からは伝染しません。なぜならば、インフルエンザウイルスは通常の過熱調理温度では（食品の全ての部分で70℃に達する、ぐつぐつ煮る、ピンクの部位がない）で不活化するので、家禽や狩猟鳥を含み、適切に準備され、調理された肉を食することは安全です。

病気の動物や病死した動物を食べてはいけません。

アウトブレイクが発生している地域では、適切に調理が行われ、食事の準備が適切に行われていれば、肉製品は安全に消費することができます。生の肉や、未調理の血液を用いた料理の摂食は、高いリスクとなりますのでお勧め出来ません。

#### 8. インフルエンザ A (H7N9) ウイルス用のワクチンがありますか？

インフルエンザ A (H7N9) 感染予防のためのワクチンは現在ありません。しかし、ウイルスはすでに最初の患者から分離され、特徴が分かっています。ワクチン開発の最初のステップは、ワクチンに用いることができる候補となるウイルス株の選択です。WHO は、パートナーと協力して、最良の候補ウイルスを識別するために利用可能なインフルエンザ A (H7N9) ウイルスの特徴を明らかにしていきます。そうして、ワクチンが必要となった場合に、これらの候補ワクチンウイルスは、ワクチンの製造に用いることができます。

#### 9. インフルエンザ A (H7N9) 感染症の治療法はありますか？

中国で行われた臨床検査の結果からは、インフルエンザ A (H7N9) ウイルスは、ノイラミニダーゼ阻害剤（オセルタミビルおよびザナミビル）として知られている抗インフルエンザ薬に感受性があることが示されています。これらの薬は病気の過程で早期に投与される場合、季節性インフルエンザウイルスとインフルエンザ A (H5N1) ウイルス感染に対して有効であることが判明しています。ただし、現時点では、H7N9 感染症の治療のために、これらの薬剤



を使用した経験はありません。

(参考)

Q&A

英文 (WHO) :

[http://www.who.int/influenza/human\\_animal\\_interface/faq\\_H7N9/en/index.html](http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/faq_H7N9/en/index.html)

日本語 (国立感染症研究所) :

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/a/flua-h7n9/2273-idsc/3394-h7n9-qa.html>

<関係省庁の照会先について>

1. 事態の概要

厚生労働省健康局結核感染症課 03-3595-2257

2. 感染状況関係について

厚生労働省健康局結核感染症課 03-3595-2257

3. 政府の主な対応関係について

内閣官房新型インフルエンザ等対策室 03-3581-4569

4. 各府省の活動状況関係について

厚生労働省健康局結核感染症課 03-3595-2257

農林水産省消費・安全局動物衛生課 03-3502-5994

総務省消防庁消防・救急課救急企画室 03-5253-7529

法務省入国管理局総務課企画室 03-3592-6852

外務省領事局政策課 03-5501-8152

財務省大臣官房総合政策課政策推進室 03-3581-7934

経済産業省大臣官房総務課 03-3501-1327

文部科学省大臣官房総務課 03-6734-2156

5. その他

厚生労働省健康局結核感染症課 03-3595-2257